

令和7年11月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和7年11月号」をお送りいたしますので、御高覧くださいますようお願ひいたします。

聴覚に障がいのあるアスリートの国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」に、女子やり投げの代表として八戸市出身の古川瑛梨奈選手が出場します。

今大会が初出場の古川選手。八戸聾学校、青森聾学校高等部を経て、令和5年から愛知県の豊田自動織機で働きながら、陸上部に所属して練習しています。昨年7月の世界選手権では8位入賞を果たし、今年5月の日本選手権は自己ベストを更新して準優勝。好調を維持し、初の大舞台に臨みます。

日本で初の開催、また、100周年の記念大会でもある東京2025デフリンピックは、11月15日に開幕します。

古川選手の出場する女子やり投げは、11月21日に予選、23日にメダルセッションが、世田谷区の駒沢オリンピック公園総合運動場にて行われます。皆さんで熱い声援を送りましょう！

▼東京デフリンピック2025の詳細はこちら

<https://deaflympics2025-games.jp/#gsc.tab=0>

### ◎皆様へのお願い

所属、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 03-3261-8973 / FAX 03-3239-6723

E-mail [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 レポート 11月号

令和7年10月の八戸市内での出来事や  
八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸市が支援強化 「こどもの居場所」県内初の相談窓口
(2)	ドクターヘリ、3者同時通話で救命迅速化 青森・岩手連携強化へ
(3)	羽田空港で「はちのヘフェア」 イカ、サバなど八戸の食発信
(4)	八戸市長 熊谷氏再選

## 【産業】

記事	概要
(5)	八戸港国際物流拠点化推進協議式典 韓国航路10年祝う
(6)	スーパー「プチマート是川店」開店 不便解消"日常"戻る
(7)	十文字チキンカンパニー（二戸） 八戸南郷に種鶏場整備
(8)	八戸いちご生産性向上へ 若手生産者グループが勉強会
(9)	八戸・蕪島オリジナルラベル 弘前の醸造所がビール発売

## 【地域】

記事	概要
(10)	八戸高等支援学校と東北電力プラスの会 蕪嶋神社に奉納 ふんよけ傘色とりどり
(11)	八戸の魅力知って ロングテーブルツアー 名所周遊、郷土料理味わう
(12)	秋恒例 縄文なべまつり せんべい汁でぽっかぽっか
(13)	「八戸」コーヒー好評 八戸東高生、有枝珈琲（八戸）とコラボ
(14)	リーベシムラ（八戸）創業100年 「優しいお菓子」これからも
(15)	八戸・湊日曜朝市会「冬の朝市」開催へ 市第3魚市場A棟で

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	中日・松山（七戸出身・八学大卒）セーブ王 球界代表する守護神誕生
(17)	古代エジプト展 八戸市美術館で開幕 市民らでにぎわう
(18)	国スポへ着々、各地でリハーサル大会開催
(19)	八学大 東北王者に 12年ぶり明治神宮大会へ
(20)	呉勝浩さん（八戸出身）のベストセラー「爆弾」全国上映スタート

【行政】

記事	
(1)	<p><b>八戸市が支援強化 「子どもの居場所」県内初の相談窓口</b></p> <p>八戸市は10月1日、同市根城8丁目の市総合福祉会館に、子どもの居場所に関する相談窓口「市子どもの居場所づくりサポートセンター」を開設した。子どもが安全で安心して過ごせる多様な居場所づくりの推進が目的で、県内では初の取組。子ども食堂をはじめとした居場所の新規開設や運営相談、食材支援のマッチングなどを担うコーディネーターを配置し、居場所づくりの機運醸成や企業への協力などの働きかけなども行うことで、支援体制の強化を図る。</p>
(2)	<p><b>ドクターへり、3者同時通話で救命迅速化 青森・岩手連携強化へ</b></p> <p>青森、岩手両県のドクターへりの広域連携運航を巡り、岩手県は10月1日、久慈市や二戸市など県北地域のドクターへりの出動要請に際し、各消防本部と岩手医科大学付属病院、八戸市立市民病院の3者が同時通話できる体制の運用を開始した。これまで自県へりを優先して出動要請するのが原則だったため、八戸市民病院からの出動が効果的と判断後、各本部は連絡を中断して八戸市民病院に出動を要請していた。同時通話体制の運用開始後は、3者が同時に話し合い対応を調整することが可能となるため、要請にかかる時間の短縮が見込める。</p>
(3)	<p><b>羽田空港で「はちのヘフェア」 イカ、サバなど八戸の食発信</b></p> <p>八戸市は10月3～5日の3日間、昨年に引き続き、羽田空港で「はちのヘフェア」を開催した。期間中、羽田産直館では八戸のコーナーを設けて南部せんべいや農水産の加工品、地酒などの販売が行われ、空港内のレストラン「新大和」では、イカの刺し身やサバのフライなどが味わえる「八戸いろどり御前」を販売。市のマスコットキャラクター「いかずきんズ」が登場してジャンケン大会などを行ったほか、南部民謡と手踊りも会場を盛り上げた。また、3日には熊谷市長がトップセールスを行い、観光振興や特産品の販路拡大に向けて八戸の食の魅力を発信した。</p>
(4)	<p><b>八戸市長 熊谷氏再選</b></p> <p>任期満了に伴う八戸市長選は10月26日、投開票が行われ、無所属で現職の熊谷雄一氏が再選した。熊谷氏のほか、共に無所属新人で建築家の高砂充希子氏、歯科医師の清水文雄氏の3人が立候補。選挙戦で熊谷氏は、人口減少対策として若者に魅力あるまちづくりや市庁組織の体制強化などを訴え、1期目の実績を前面に押し出しながら市政のさらなる進展を主張。SNSやインターネット上の仮想空間（メタバース）も駆使して変革を呼びかける高砂氏を地力の差で振り切った。熊谷氏の任期は11月17日から4年間。</p>

【産業】

記事	概要
	<p><b>八戸港国際物流拠点化推進協が式典 韓国航路10年祝う</b></p>
(5)	<p>韓国の「長錦商船」が八戸港にコンテナ定期航路を開設して10周年を迎えたことを記念し、10月6日、同港の多目的国際ターミナルで式典が行われた。同社が八戸への寄港を開始したのは2015年10月27日で、航路は日本の各港とアジアの主要なハブ港である韓国・釜山をつなぐ。現在は週1便で運航。24年のコンテナ取扱量は8,750本（20ft換算）で、八戸港全体の2割を占める。式典は、市や県などでつくる八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長・熊谷市長）が主催。物流企業の関係者約20人が出席し、重要な物流を担う航路の節目を祝った。</p>

	<b>スーパー「プチマート是川店」開店 不便解消"日常"戻る</b>
(6)	スーパーのマエダ（むつ市）が運営する「プチマート是川店」が10月9日、八戸市是川1丁目にオープンした。2018年にスーパーが撤退し、地域住民の買い物が困難となっていた是川地区。店舗は、地元からの要望を受けた市がスーパー事業者に限定して募集していた土地に開店した。売り場面積は218m <sup>2</sup> 。野菜や鮮魚、精肉などの生鮮食品や日用品、総菜などをそろえる。同日は、開店を心待ちにしていた多くの来店客でにぎわった。
(7)	<b>十文字チキンカンパニー（二戸） 八戸南郷に種鶏場整備</b> プロイラー大手の十文字チキンカンパニー（二戸市）が、八戸市南郷大森浜梨子平に新たな種鶏場を整備している。別の地域にある既存施設の老朽化伴い、約1万7300m <sup>2</sup> の敷地に延べ床面積約990m <sup>2</sup> の鶏舎を3棟建設する。同社にとっては計25か所目の種鶏場となる見込みで、八戸市内での整備は初めて。約2万羽のひなを育て、65週間で約400万個の卵を生産。別の施設でふ化させた後、岩手県北の同社の養鶏農場へ出荷される。来年6月からの稼働を目指す。
(8)	<b>八戸いちご生産性向上へ 若手生産者グループが勉強会</b> 八戸市市川地区を主産地とし、青森県内一の生産量を誇る「八戸いちご」の振興を目指し、若手生産者グループによる勉強会が10月21日、市内で開かれた。たばこメーカー大手のフィリップモリスジャパン合同会社（東京）と、地域課題解決に取り組む一般社団法人RCF（同）が、八戸圏域の農業振興を目指して展開する「あおもり三八農業未来プロジェクト」の一環。この日は、スマート農業技術などを活用したイチゴ栽培に取り組む「GRA」（宮城県山元町）の岩佐大輝代表を講師に招き、生産性向上や担い手不足などの課題解決に向けて生産者が意見を交わした。今後は先進地での研修や実証実験に取り組む方針。
(9)	<b>八戸・蕪島オリジナルラベル 弘前の醸造所がビール発売</b> 弘前市のクラフトビール醸造所「Be Easy Brewing」は、青森県内40市町村をテーマにしたクラフトビールシリーズ「マジック・スペル」の11作目となる八戸市版「HACHINOHE」を完成させた。同シリーズは、各地の魅力を知つてもらおうと2023年から製造・販売。県内自治体の名前をビールに冠し、ラベルには漫画「ふらいんぐういち」の作者で弘前市在住の石塚千尋さんが各地域の景色をデザイン。味も地域ごとに異なるという。今回は、蕪島を舞台に女性とウミネコが戯れるラベルを採用。フルーティーで香り豊かだが甘過ぎない一品に仕上げた。350ml缶で1本700円（税込み）。オンラインショップでも購入できる。

### 【地域】

記事	概要
	<b>八戸高等支援学校と東北電力プラスの会 蕪嶋神社に奉納 ふんよけ傘色とりどり</b>
(10)	県立八戸高等支援学校と「東北電力プラスの会」は10月2日、同市鮫町の蕪嶋神社に、ウミネコのふんをよけるためのビニール傘30本を寄贈した。ウミネコの繁殖地として知られる蕪島や同神社での観光を心置きなく楽しんでもらおうと、同会は1978年から毎年傘を寄贈しており、その数は計1,510本に上る。傘に絵を描く取組は昨年に続き2回目。今回は、同校普通科の1年生が、地域の調べ学習の一環として八戸にちなんだ絵などを傘に描き、特別な1本に仕上げた。

	<b>八戸の魅力知って ロングテーブルツア－ 名所周遊、郷土料理味わう</b>
(11)	八戸市の認知度向上とファン獲得を目指す「ロングテーブルツア－in青森・八戸」が10月4、5日、市内で行われた。同市出身で都内在住の鷹野麗さんが企画。八戸の旬の食材や地酒を知つてもらおうと、参加者同士が一つの長いテーブルを囲む「ロングテーブル」形式の食事会を都内で2回実施しており、今回は実際に現地を訪れて食や文化に触れてもらおうと開催した。ツア－では八食センターや館鼻岸壁朝市、蕪島などを周遊後、大正時代に建築されたレンガ造りの八戸酒造の酒蔵で食事会を実施。同市の「割烹金剛」による地元食材をふんだんに使用した南部伝承膳が提供され、参加者は親睦を深めながら郷土料理を味わった。
(12)	<b>秋恒例 縄文なべまつり せんべい汁でぽつかぽつか</b>
	八戸市の八戸公園で10月12日、秋の恒例イベント「縄文なべまつり」が開かれた。2000年から定期的に開催されている同イベント。八戸パークホテルの料理人が直径3m、深さ0.8mの巨大な縄文鍋にせんべいや野菜、鶏肉などの具材を入れ、2,800食分を調理。事前に1杯100円のチケットが販売され、正午に配布が始まると、待ちわびた人々が長蛇の列を作った。小雨が降る肌寒い天気だったが、訪れた人たちがせんべい汁を頬張り体を温めた。
(13)	<b>「八戸」コーヒー好評 八戸東高生、有枝珈琲（八戸）とコラボ</b>
	地域をコーヒーで盛り上げようと、県立八戸東高校の生徒と八戸市南類家2丁目のコーヒー豆専門店「有枝珈琲」がコラボしたブレンドコーヒーが誕生した。同校の総合的な探求の時間「はちのへ創造学」がきっかけで、普通科2年の3人が今年春から企画に着手。コーヒーの国際競技会で何度も入賞している同店に相談し商品化の協力を得た。8つの産地の豆が生み出すフルーティーな味わいと香りが好評で、9月に売り出した1,000個は1週間ほどで完売、10月18日に再販した。ドリップパックのパッケージには、書道パフォーマンス甲子園にも出場した同校生徒の毛筆で「八戸」と力強く書かれている。ドリップバッグは1個250円（税込み）。
(14)	<b>リーベシムラ（八戸）創業100年 「優しいお菓子」これからも</b>
	八戸市鍛冶町の洋菓子店「リーベシムラ」が、今年創業100年を迎えた。1925年に和菓子店として開業後、3代目店主の一雄さんの代から洋菓子店に衣替え。同店のチーズケーキは、同市出身の芥川賞作家三浦哲郎さんが八戸滞在中に必ず買い求めていたという一品。ザッハトルテは、2011年に市内で開かれた将棋のタイトル戦第24期竜王戦で、タイトルを防衛し8連覇を達成した渡辺明竜王（当時）が対局中のやつとして4回注文し話題となつた。また、八戸いちごの普及にも力を入れており、毎年スイーツ作り体験会を開催している。10月25、26の両日は、100周年記念企画として店内商品の割引販売や市内外の企業とのコラボ販売を行つた。
(15)	<b>八戸・湊日曜朝市会「冬の朝市」開催へ 市第3魚市場A棟で</b>
	八戸市の「館鼻岸壁朝市」を運営する湊日曜朝市会は、来年1月18日から3月8日までの毎週日曜、市第3魚市場A棟を会場に「冬の朝市」を開催する。巻き網船の荷さばき施設として運用するA棟は、漁期に合わせ1～6月が休場中のため、市などの協力を得て冬期間の朝市会場として活用。12月から来年3月末まで、JR東日本や青森県などは県内と北海道南で冬の観光キャンペーンを展開予定で、企画の一環として特別開催する。飲食を中心に棟内、屋外のキッチンカーも合わせて計80店ほどの出店を想定。八戸えんぶりなど他コンテンツとの相乗効果も期待する。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p><b>中日・松山（七戸出身・八学大卒）セーブ王 球界代表する守護神誕生</b></p> <p>プロ野球セ・リーグで今季46セーブを挙げ、リーグ記録に並んでいた中日の松山晋也投手（七戸町出身）が10月1日、シーズン最終戦を終え最多セーブ投手に決まった。七戸町内の小中学校を卒業後、八戸学院野辺地西高へ進み、八戸学院大を経て2023年に育成ドラフト1位で入団。昨季は43ホールドポイントで最優秀中継ぎ投手に輝き、抑えに転向した今季も一つ一つセーブを重ね、2年連続でタイトルをつかんだ。抑えとして46セーブを挙げ、岩瀬仁紀（中日）、藤川球児（阪神）といった名クローザーの記録に肩を並べた。</p>
(17)	<p><b>古代エジプト展 八戸市美術館で開幕 市民らでにぎわう</b></p> <p>「古代エジプト美術館展」が10月11日、八戸市美術館で開幕した。青森県初開催。国内唯一の専門美術館「古代エジプト美術館 渋谷」（東京）が所蔵する貴重なコレクション約200点を展示。展示会では、古代エジプト人の信仰や衣食住、死生観など、大きく4つのテーマに分けてアクセサリーやレリーフ、ミイラなどの遺物を紹介。現在も発掘調査が続く「メイドゥム遺跡」にあるピラミッドの最新調査の様子も公開している。10月31日には早くも1万人を達成するなど市民の関心の高さをうかがわせている。12月15日まで開催。</p>
(18)	<p><b>国スポへ着々、各地でリハーサル大会開催</b></p> <p>青森県で来年開催される「青の煌めきあおもり国スポ」に向け、八戸市では10月5～19日、本大会で開催する7つの競技のうち自転車、サッカー、ボウリング競技のリハーサル大会が各会場で開催された。競技会運営能力の向上や国スポ開催の気運醸成を図ることなどを目的に、本大会と同じ会場で全国規模の大会を行うもの。レスリングについては6月に実施済。また、10月8日には宮下県知事が滋賀県で開かれた国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」総合閉会式に出席。大会旗が次回開催地となる青森県に引き継がれた。</p>
(19)	<p><b>八学大 東北王者に 12年ぶり明治神宮大会へ</b></p> <p>明治神宮野球大会東北地区大学代表決定戦の決勝が10月27日、新田仙台市民球場で行われ、八学大（北東北大学1位）が東北福祉大（仙台六大学1位）に6-1で逆転勝ちし、2013年以来12年ぶりの明治神宮大会出場を決めた。八学大は1点を追う5回に4点を奪い逆転。6回にも2点を追加して突き放した。先発した小林投手は6回1失点の好投で、最優秀選手賞と最優秀投手賞を受賞した。明治神宮大会は11月14日に開幕する。</p>
(20)	<p><b>吳勝浩さん（八戸出身）のベストセラー「爆弾」全国上映スタート</b></p> <p>八戸市出身の作家吳勝浩さんのベストセラー小説「爆弾」が映画化され、10月31日から公開されている。東京都内で次々起きる爆破事件を巡るサスペンスミステリーで、爆破を予告する謎の男「スズキタゴサク」と警察のスリリングな心理戦を描いている2022年刊行の同作。直木賞や本屋大賞の候補作になるなど、高く評価されている。主人公の刑事・類家役を山田裕貴さん、スズキタゴサク役を佐藤二朗さんが演じるほか、伊藤沙莉さん、染谷将太さん、渡部篤郎さんら実力派俳優が出演している。</p>

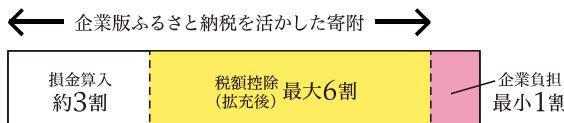
# 企業版ふるさと納税の3つの魅力

## 1 税制上の優遇が受けられる

損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減されます。

## 2 社会貢献

SDGsやESGへ寄与できます。



## 3 自社PR

ご寄附をいただけた企業様を八戸市HPとSNSでご紹介いたしますので、企業様のPRに繋がります。

### 申込み方法

- 電話
- メール
- 二次元バーコード

### 申込み・お問合せ先

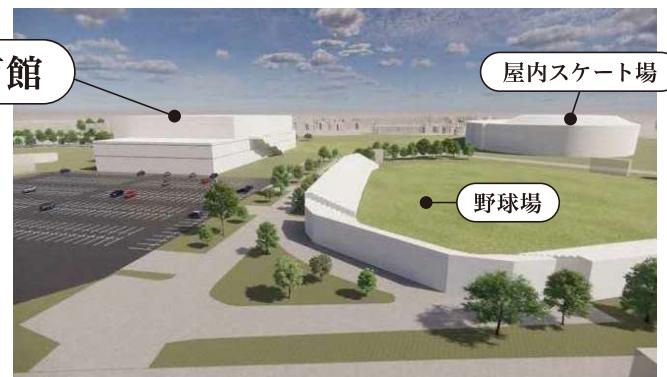
政策推進課  
企業版ふるさと納税担当  
TEL:0178-43-9233  
Email:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp



## [ 寄附受付事業 ]

### ●新体育館の建て替え

スポーツやイベントなど、市民の多様な活動の場として、年間約37万人に利用されています。竣工から半世紀以上経過していることや、時代の移り変わりとともに変化する多様なニーズに応えるため、計画的に準備を進めています。



新体育館

屋内スケート場

野球場

### ●八戸市の魅力発信

八戸市のマスコットキャラクター「いかづきんず」や公式SNSなどを活用して、当市の魅力を広く発信しています。

- 魅力を発信することで
- ◎市民の地元に対する愛着や誇りを醸成したい。
  - ◎国内外の人々の当市への関心を高めたい。
  - ◎交流人口や定住人口の創出・拡大につなげたい。



### ●八戸産ぶどうを活用したワイン産業振興

農業振興のみならず、商工業や観光業にも繋がる「ワイン産業」の振興を目指しています。

### ●創業・事業継承の支援拠点運営

創業及び事業継承の支援拠点を設置し、専門家による相談対応やセミナー開催等により、創業希望者等を支援しています。

### ●八戸市ブックスタート事業

八戸市在住の赤ちゃんとその保護者を対象に、おすすめブックリストや絵本をプレゼントしています。

## 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。→ 
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

送付先・お問合せ先

広報統計課 ふるさと寄附金担当  
 〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1  
 TEL:0178-43-2319  
 FAX:0178-47-1485  
 Email:furusatotax  
 @city.hachinohe.aomori.jp

## インターネット

- 下記5つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



ふるなび

JRE MALL



Amazonふるさと納税



八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っています。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いします。

また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

## 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい！」「八戸が大好き！」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください！



## ふるさと寄附金の3つの魅力

## ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

## ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。（控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。）

## ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。



## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 大西 伸一郎 [主査] 斎藤 千聖 [事務員] 浜井 章代



八戸市  
Hachinohe City